

さめき水田宮農だより

県産小麦「さめきの夢2009」の増産が求められています！

8月27日に香川県麦民間流通連絡協議会が開かれ、製粉・精麦業者を中心とした実需者とJA香川県が情報交換し、25年産麦の需要量と供給見込量を確認しました。

香川県産の小麦の増産が実需者から強く望まれています。



小麦は大幅な供給不足が見込まれます。

需要と供給のバランスが取れるよう、小麦「さめきの夢2009」の作付拡大と併せ、単収の向上により、実需者の期待に応えましょう。



農業経営の安定化に向け、作付面積を拡大しましょう！

品種名	播種期	出穂期	成熟期	稈長	穂長	mあたり穂数	脱粒性	10aあたり収量	左の対比	千粒重
さめきの夢2009	11月15日	4月8日	5月31日	79cm	9.0cm	559本	中	549kg	116%	38.8g
さめきの夢2000	11月15日	4月10日	5月31日	80cm	7.1cm	622本	やや易	470kg	(100%)	37.6g

注) 旧農業試験場(高松市仏生山町)における試験結果：平成20～22年播き。施肥水準同一

「さめきの夢」の収入試算(転作麦の場合)

	さめきの夢2009	さめきの夢2000
10a単収	360kg	310kg
交付金計	70,700円	65,741円
面積払	35,000円	35,000円
数量払	35,700円	30,741円
販売収入	24,045円	20,705円
収入合計	94,745円	86,446円

注)「面積払」は水田活用の所得補償交付金で、転作麦の場合です。
「数量払」は畑作物の所得補償交付金で、1等Bランクの場合です。
いずれの交付金も、24年度の交付単価を基に算定しています。
「販売収入」は、24年度産の「さめきの夢2000」の入札価格(1等品質、税込)で算定しています。

新品種「さめきの夢2009」は、「さめきの夢2000」と比べて収量が多いのが特長です。

作付面積の拡大と併せて、「さめきの夢2009」を生産することで、農業者戸別所得補償交付金の交付額が多くなることが期待されます。

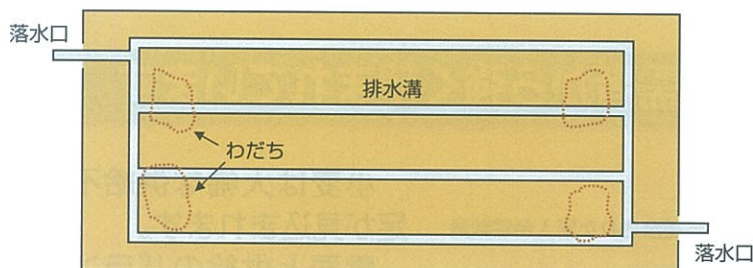
麦づくりは排水対策から



本県の麦作は、水稻の裏作が約7割を占めています。
水稻「ヒノヒカリ」の場合、収穫後、麦の播種適期まで1ヶ月程度しかありません。
この期間にほ場内の雨水をほ場外へ流し、乾田化を図ることが適期播種につながります。

① 播種前の排水対策

水稻の収穫後、なるべく早めに、ほ場の周囲（ヨケ）と5mの間隔で排水溝を設置し、落水口と確実に連結させて、排水を促しましょう。



② 播種時・直後の排水対策

ロータリー幅もしくは2～5mごとに深さ15～20cmの排水溝を設置し、確実に落水口に連結しましょう。



③ 生育中の排水対策（土入れ、排水溝の補修・点検）

播種時に設置した排水溝は、降雨などにより溝が埋まり、十分に排水されなくなります。麦の生育に応じて、排水溝の補修・点検を兼ねた土入れを行いましょう。

施肥について

「麦は肥料でどれ」といわれます。麦の品種特性と生育に応じた適正な施肥に努めましょう。

○施肥設計の見直し（「さめきの夢2009」の場合）

「さめきの夢2000」は穂数型品種（穂数を多くすることで収量を多くする品種）でしたが、今秋から全面切替になる「さめきの夢2009」は穂重型品種（大きな穂を作ることで収量を多くする品種）です。

大きな穂を作り、できるだけ充実させることで収量アップが期待できます。

「さめきの夢2000」より追肥時期を遅めにし、追肥量をやや多くしますが、生育中期の肥料切れを防ぐため、基肥もやや増量します。詳しくは「栽培のしおり」をご覧ください。

施肥設計（窒素量 kg/10a）

【 】は「さめきの夢2000」の場合

	土壌区分	基 肥	追肥(2月中～3月上)	合 計
速効性化成肥料	砂質田（水はけ良）	7.7 [7.0]	3.5 [2.8]	11.2 [9.8]
	粘質田（水はけ悪）	8.4 [7.7]	4.2 [3.5]	12.6 [11.2]
基肥一発肥料	砂質田（水はけ良）	11.2 [9.6]	—	11.2 [9.6]
	粘質田（水はけ悪）	12.8 [11.2]	—	12.8 [11.2]

適期播種

麦の播種適期は、小麦、はだか麦とも11月15日～25日と短期間ですが、特に小麦は播種の早限から晩限までが1か月程度と短期間です。ほ場の条件や作付規模を勘案し、可能な限り**小麦**の適期播種に努めましょう。



種 類	品 種	播種早限	播種適期	播種晩限
小 麦	さめきの夢2009	11月10日	11月15日 ～	12月5日
はだか麦	イチバンボシ		11月25日	12月20日

※小麦「さめきの夢2009」は早播きすると春先に凍霜害が発生する可能性があるため、極端な早播きは避けましょう。

※小麦は12月5日を過ぎて、はだか麦は12月20日を過ぎて播種すると、収量品質が低下する可能性があるので注意しましょう。

平成22、23年播き(23、24年産)の麦の播種時期と単収を比較すると...

はだか麦

平成22、23年播きともに播種晩限までに播種作業をほぼ完了
(12月20日頃)

→ 年並みの単収確保

小 麦

平成23年播きは播種晩限を過ぎても播種が続いた。
(12月5日頃)

→ 低単収

香川県における麦の播種時期と単収 (22年播、23年播の比較)

区 分	23年播 (24年産)			22年播 (23年産)		
	11月末までに播種できた割合	作付予定面積の95%の播種が完了した時期	見込単収 (※) (平年単収)	11月末までに播種できた割合	作付予定面積の95%の播種が完了した時期	単収 (平年単収)
小 麦	67 %	12月下旬	283kg/10a (309kg/10a)	81 %	12月上旬	333kg/10a (303kg/10a)
はだか麦	78 %	12月中旬	302kg/10a (293kg/10a)	87%	12月中旬	311kg/10a (299kg/10a)

出典：播種時期は農業生産流通課調べ。

22年播の単収および平年単収は、農林水産省「作物統計」

(※) 第14回香川県麦民間流通地方連絡協議会 (平成24年8月27日開催) で示された23年播見込単収。

○播種量

播種量が多く出芽数が多くなると倒伏しやすくなるので、適正播種量を遵守しましょう。

	ドリル播き	全面全層播
小麦「さめきの夢2009」	7～9kg/10a	13～15kg/10a
はだか麦「イチバンボシ」	7～8kg/10a	13～15kg/10a



営農計画調査にご協力をお願いします

本年度も営農計画調査を実施することとなりました。
確実に作付可能な面積を記入していただきますようご協力をお願いします。

ご主人から営農計画調査票を渡されたA山さんは、初めて調査票を記入するので、地域農業再生協議会の事務局S原さんを訪ねました。たまたま居合わせた農業者K川さんといっしょに調査について質問しました。

●農業者K川さん、A山さんとも生産調整を実施しています。
また、今後とも生産調整を実施することとしています。

K川さん



A山さん



S原さん



そうだな、

今年は水稻を作付けしたい面積全部に水稻を作付けして、配分を越えた面積については、新規需要米としてJA委託の飼料用米に取り組んだよ。水稻を作付けしているけど、転作にも協力しているし、なにより、主食用米と同じ管理でできるので取り組みやすかったよ。

K川さんみたいに大規模にされている人は、転作面積も大きくなるから、同じ水稻で転作になるのだったら取り組みやすいですね。

4

でも、

生産数量目標配分の要素のひとつになるのだったら、営農計画調査に書いた計画面積はすべて配分されるのですか？

いいえ、

国から県への配分面積は米の需要の低迷に伴って年々減少されており、**計画面積がすべて配分されるとは限りません。**皆さんへの配分の方法(ルール)については、今後、地域農業再生協議会で決定します。

5



営農計画調査票に記入するときに気をつける点は何ですか？

営農計画調査は、過去の配分面積にとらわれず、**確実に作付けに結びつく面積、作付可能な面積を記入してください。**

6

私も配分を越えた面積の水稻は、JA委託の飼料用米に取り組めるのですか？



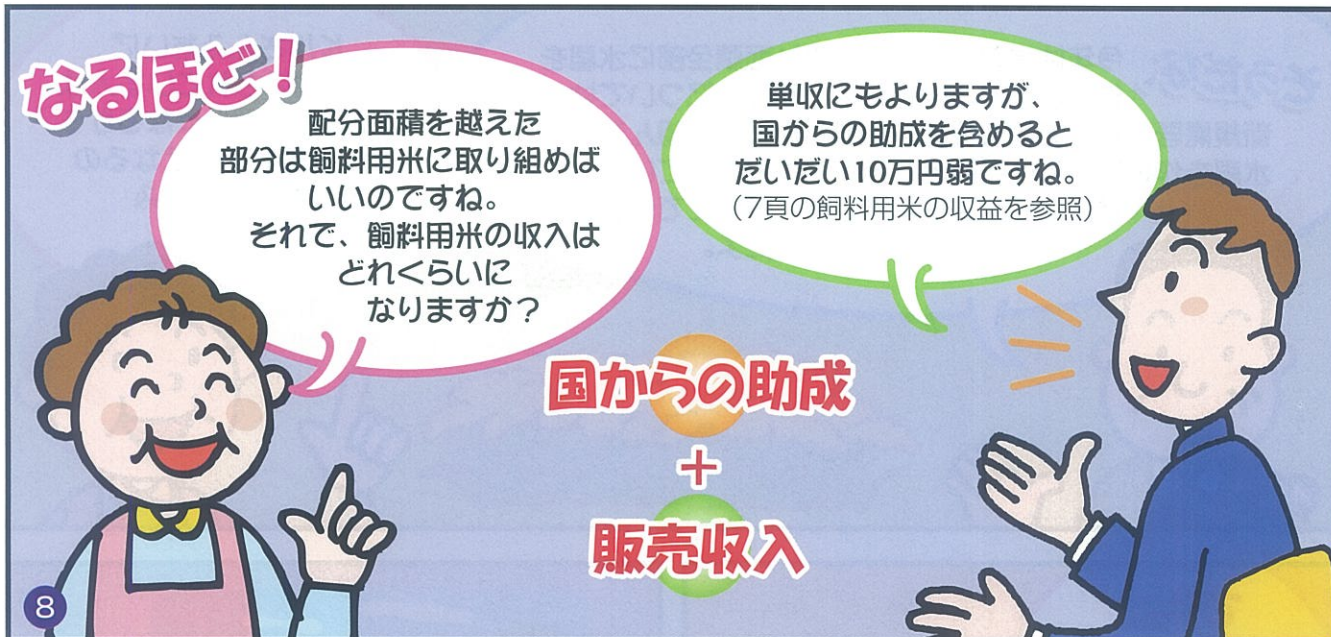
主食用米



飼料用米

JAに相談すればできるよ！主食用米よりは、手取りは劣るけど、主食用米と同じ品種、同じ管理で取り組めるから、配分面積のことを気にしないで、苗の段取りができるよ。

7



営農計画調査票の記入について

お手元に調査票が届きます。
記入方法(記入例)が添付されていますので、参考にしてください。



ご記入の前に…

調査票は複写式になっています。3枚が重なった状態で、ボールペンではっきりと記入してください。



記入上の注意

過去の配分にとらわれず、作付けを計画する面積(確実に作付けできる範囲内)を記入してください。



地域毎に記入方法が異なる場合があります…

詳しくは、調査票と同時に配布された資料に基づいて記入してください。

飼料用米の収益性等

J Aで取り組んでいる広域流通の飼料用米は、集荷された主食用米の一部を契約に基づいて飼料用米として実需者向けに出荷されます。

これにより、飼料用・主食用の区別なく生産管理ができるとともに、転作作物として水稻を活用することから、水田の有効活用にも利用されています。

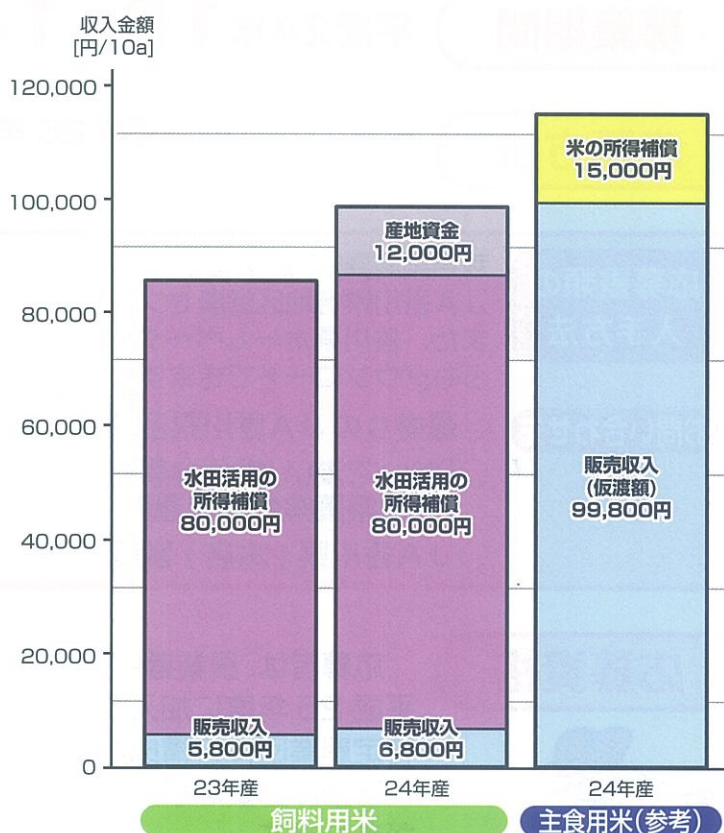
平成23・24年産の飼料用米の収益を比較すると、下図のようになりました。

主食用米に比べて収益性は低いものの、24年産は、産地資金を上乗せすることで、収益較差が小さくなっています。

飼料用米の生産には次のようなメリットがあります。

- **飼料用米は、転作作物の扱い**です。
- **飼料用・主食用の区別なく生産管理ができる**ので取り組み易い品目です。
- 排水性の悪い水田でも飼料用米を作付けでき、**不作付地の解消**にも有効です。
- 主食用米と同じ機械を使えるので、**新たな機械投資は不要**です。
- 「水田活用の所得補償交付金」の8万円/10aの対象品目です。

「水田活用の所得補償交付金」の助成単価等は、平成23・24年度の単価です。
※今後、制度の見直し等に伴い、変更される可能性があります。



単収：499kg の場合。
飼料用米は流通経費(全国平均1,000円/60kg)差引後。
主食用米は、2等ヒノヒカリで、24年産は仮渡し金額。

来年度の戸別所得補償制度の見込みについて

平成24年9月6日に、平成25年度の農林水産省の予算要求(概算要求)が公表されました(詳細は <http://www.maff.go.jp/j/budget/> でご覧になれます)。

農業者戸別所得補償制度については、所要額が計上されており、引き続き、制度が継続される見込みです。

今後、国で具体的な検討が行われ、概算決定が公表されますので、その時点で、詳細をお知らせする予定です。



○お問い合わせ先

香川県農協中央会指導部指導課
香川県庁(香川県農政水産部農業生産流通課農産グループ)

TEL:087-825-2503
TEL:087-832-3418

「おいでまい」生産者の公募について

県オリジナル水稻品種「おいでまい」の普及と品質・食味を確保したブランド化を図り、今後の作付推進地域を検討するため、『「おいでまい」委員会』が栽培者を募集します。

平成25年産「おいでまい」栽培面積は県全体で600ha程度を最大として作付を計画しています。そのうち150ha程度までについて、今回の応募者から認定する予定です。



募集期間

平成24年10月1日(月)~11月30日(金)

注)11月30日は、JAから「おいでまい」委員会への申請締切です。

応募方法

応募される方は、『平成25年度「おいでまい」栽培者認定申請書』を、営農計画調査提出期間内にとりまとめ先に提出して下さい。

応募書類の 入手方法

栽培実施要領、栽培者審査要領(「認定申請書」を含む。)等の必要書類は、最寄りのJA香川県各地区営農センター及び取りまとめ支店等に準備しています。また、香川県ホームページ「さめきの農産物応援団」、JA香川県ホームページからもダウンロードできます。

お問い合わせ先

○最寄りのJA香川県各地区営農センター又は取りまとめ支店

○「おいでまい」委員会事務局
(香川県農業生産流通課 農産グループ)

Tel : 087-832-3418

○JA香川県(本店)営農部農産課

Tel : 087-818-4109

応募資格



応募者は、農業者戸別所得補償制度に平成24年度に加入しているか、平成25年度に加入する予定の県内の農業者、農業法人、集落営農組織、特定農業団体の構成員です。

審査に必要な事項を、地域農業再生協議会及びJA等で確認することがあります。

栽培者が備えておくべき事項(以下の要件を満たすことが必要です。)

- ①乾燥機、粃摺り機、ライスグレーダー等の乾燥調製設備を装備していること。
- ②自家育苗をしていること。
- ③平成24年産水稻の農産物検査実績があること。

栽培者が守るべき事項

- ①県やJAが開催する講習会、研修会、検討会にできるだけ参加し、栽培管理について、指導を受ける。
- ②田植えの時期は、6月20日~30日頃とする。
- ③ライスグレーダーの篩目は1.85mm以上を使用する。
- ④「おいでまい」の種子、苗が余った場合は、適切に処分し、決して他者に譲渡しない。
また、自家採種や有償、無償にかかわらず他者への種子譲渡は、行わない。
- ⑤収穫した「おいでまい」については、農産物検査と食味計による食味分析を受け、その結果を報告する。
(JAで農産物検査と食味分析を受けたJA出荷者については、JAがまとめて報告する。)
- ⑥栽培履歴を記帳する。

